

施設の建設工事や稼動において、周辺環境の保全が適切に図られているかを確認するため、毎年、環境モニタリング調査を実施します。

今回は、（仮称）第2エコパーク建設工事中における大気質，騒音・振動，水質，動植物の調査結果をお知らせいたします。（平成30年4月～平成31年3月）

調査項目

生活環境					自然環境		
大気質			騒音	振動	水質	植物	動物
二酸化窒素	浮遊粒子状物質	降下ばいじん				保全対象種 重要種	保全対象種 重要種

環境保全措置

第2エコパーク建設工事においては、周辺環境の保全を適切に図るため、以下の保全措置を実施しています。

項目		主な保全措置（平成30年度実施）
生活環境	大気質	<ul style="list-style-type: none"> ・粉じんの発生抑制，排ガス対策型機械の使用 ・造成面の早期緑化及びコンクリート吹付の実施
	騒音・振動	<ul style="list-style-type: none"> ・低騒音型の建設機械の使用 ・工事用車両の点検・整備による性能維持，適正速度での走行
	水質	<ul style="list-style-type: none"> ・濁水ろ過フィルター，濁水処理プラントの設置 ・暗渠排水管の敷設
自然環境	植物	<ul style="list-style-type: none"> ・生育適地への移植
	動物	<ul style="list-style-type: none"> ・ウスミミモンキリガの生息環境となるハンノキ林を創出

調査結果及び評価の概要 【生活環境】

1 大気質

1) 二酸化窒素

本体建設工事が施工されている状況においても環境保全計画値を下回りました。

環境保全措置を実施した結果, 周辺環境の保全は適切に図られていると考えられます。

【本体建設工事中】

単位：ppm

調査場所	調査日・期間	調査結果			環境保全計画値
		工事前	予測値	工事中	
建設地南西側 (民家隣地)	平成30年8月22日～29日	0.004	0.028	0.006	1時間値の1日平均値が0.04ppm～0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること
	平成30年12月17日～24日			0.012	
グリーンタウン (第6公園)	平成30年8月22日～29日	0.006	0.027	0.002	
	平成30年12月17日～24日			0.005	

2) 浮遊粒子状物質

本体建設工事が施工されている状況においても環境保全計画値を下回りました。

環境保全措置を講じた結果, 周辺環境の保全は適切に図られていると考えられます。

【本体建設工事中】

単位：mg/m³

調査場所	調査日・期間	調査結果			環境保全計画値
		工事前	予測値	工事中	
建設地南西側 (民家隣地)	平成30年8月22日～29日	0.014	0.043	0.027	1時間値の1日平均値が0.10 mg/m ³ 以下であり, かつ, 1時間値が0.20 mg/m ³ 以下であること
	平成30年12月17日～24日			0.020	
グリーンタウン (第6公園)	平成30年8月22日～29日	0.014	0.042	0.018	
	平成30年12月17日～24日			0.006	

3) 降下ばいじん

本体建設工事が施工されている状況においても環境保全計画値を下回りました。

環境保全措置を実施した結果, 周辺環境の保全は適切に図られていると考えられます。

【本体建設工事中】

単位：t/km²/月

調査場所	調査日・期間	調査結果			環境保全計画値
		工事前	予測値	工事中	
建設地南西側 (民家隣地)	平成30年8月22日～ 9月21日	0.1未満	7.8	6.8	20以下
グリーンタウン (第6公園)	平成30年8月22日～ 9月21日	0.1未満	4.6	4.8	

2 騒音・振動

1) 騒音

本体建設工事が施工されている状況においても環境保全計画値を下回り、工事車両の通過による騒音についても、環境保全計画値を下回りました。

環境保全措置を実施した結果、周辺環境の保全は適切に図られていると考えられます。

【本体建設工事中】

単位：dB

調査場所 (工事)	調査日・期間	調査結果			環境保全 計画値
		工事前	予測値	工事中	
建設地南西側 (民家隣地)	平成 30 年 4 月 7 日	42	64	57	85 以下
グリーンタウン (第 6 公園)	平成 30 年 9 月 20 日	43	62	55	
調査場所 (工事車両)	調査日・期間	調査結果			環境保全 計画値
		工事前	予測値	工事中	
国道 293 号交差点付近	平成 30 年 6 月 14 日	61	62	65	70 以下

2) 振動

本体建設工事が施工されている状況においても環境保全計画値を下回り、工事車両の通過による振動についても、環境保全計画値を下回りました。

環境保全措置を実施した結果、周辺環境の保全は適切に図られていると考えられます。

【本体建設工事中】

単位：dB

調査場所 (工事)	調査日・期間	調査結果			環境保全 計画値
		工事前	予測値	工事中	
建設地南西側 (民家隣地)	平成 30 年 4 月 7 日	30 未満	56	30 未満	75 以下
グリーンタウン (第 6 公園)	平成 30 年 9 月 20 日	30 未満	56	30 未満	
調査場所 (工事車両)	調査日・期間	調査結果			環境保全 計画値
		工事前	予測値	工事中	
国道 293 号交差点付近	平成 30 年 6 月 14 日	30	32	36	70 以下

3 水質（浮遊物質）

本体建設工事が施工されている状況においても環境保全計画値を下回りました。

環境保全措置を実施した結果、周辺環境の保全は適切に図られていると考えられます。

【本体建設工事中】

単位：mg/L

調査場所	調査日・期間	調査結果			環境保全 計画値
		工事前	予測値	工事中	
建設地南側沢下流	平成 30 年 9 月 25 日	1 未満～27	軽微	4.0	50 以下
	平成 31 年 3 月 14 日	1 未満～27	軽微	5.6	

調査結果及び評価の概要 【自然環境】

確認されている希少な動植物のうち、工事による影響がおよぶと予想された以下の9種（保全対象種）について、生育・生息調査を行いました。

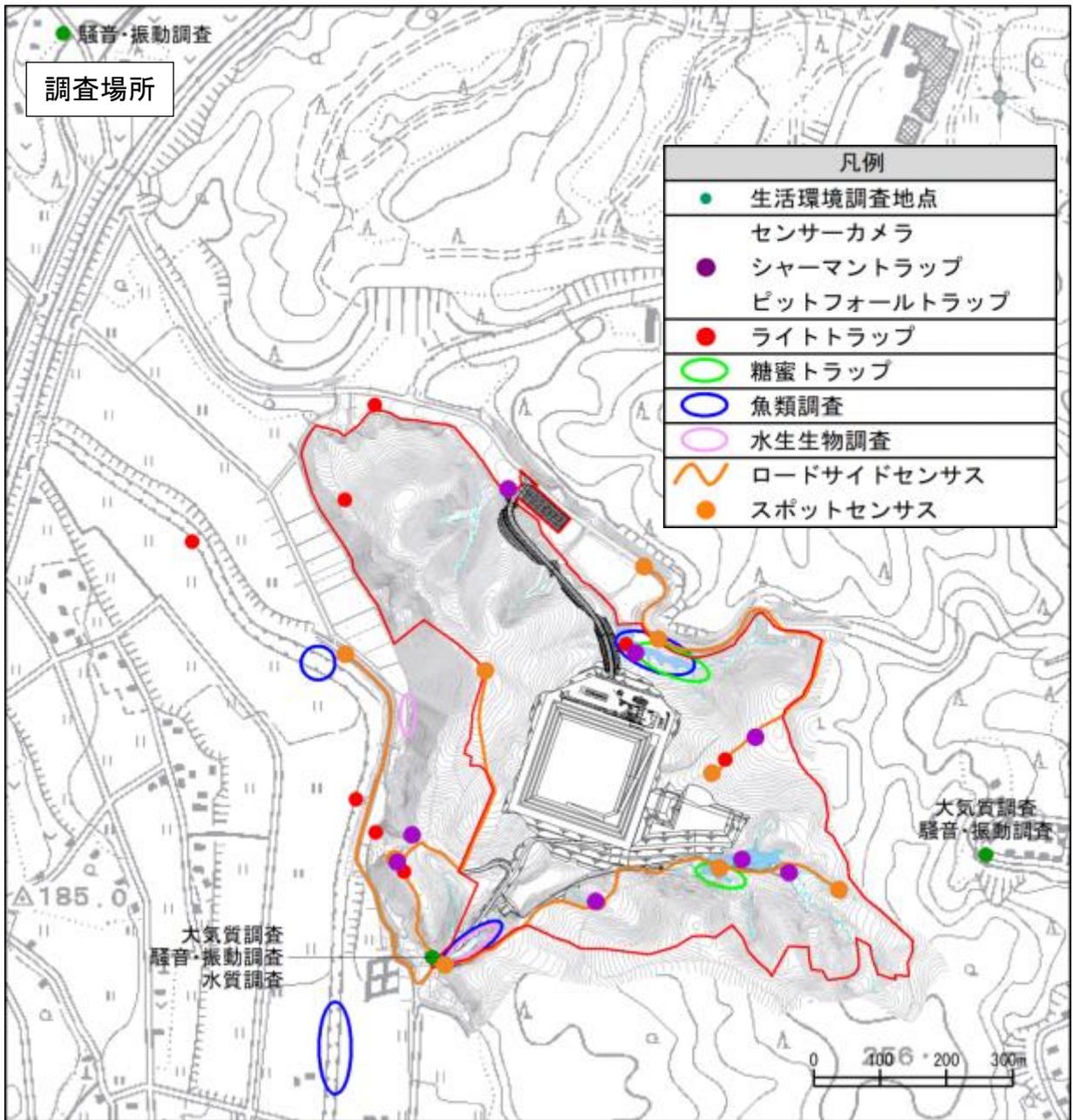
分類		保全対象種	調査結果
植物		オオアオカモメヅル サワシロギク クモキリソウ	移植した個体の生育が確認されました。
動物	鳥類	オオタカ	区域周辺での飛翔が確認されました。 営巣は確認されませんでした。
		ハヤブサ	区域周辺での営巣が確認されました。
		サンコウチョウ	区域内での飛翔が確認されました。
	魚類	スナヤツメ	個体が確認されました。 なお、田川においても確認されました。
	昆虫類	ムカシヤンマ	多くの個体が確認されました。
ウスミミモンキリガ		確認されませんでした。保全措置として、生息環境であるハンノキ林を東側湿地に創出しました。	

調査結果及び評価の概要 【総括】

生活環境については、すべての項目で環境保全計画値を下回っていることが確認されました。

自然環境については、概ね保全対象種の生育・生息が確認されたことから、工事従前からの生息状況に変化がないことが確認されました。

以上のことから、周辺環境の保全が適切に図られていると考えられます。



保全対象種9種



